

平成19年6月18日

文部科学大臣

伊 吹 文 明 殿

財団法人 総合工学振興会  
理事長 野水重勝

〒113-0033

東京都文京区本郷5丁目25番13

スカイビジョンビル7F

TEL. 03-3816-0126

FAX. 03-3816-6066

E-mail: sokokai@jist.or.jp

URL: <http://www.jist.or.jp/>



## 平成18年度事業状況等の報告について

平成19年6月2日開催の理事会及び評議員会において、当財団の平成18年度事業状況報告書及び決算書が承認されましたので「文部科学大臣の所管に関する公益法人の設立および監督に関する規則」（平成12年10月31日総理府・文部省令第4号）第6条の規定に基づき、関係書類を添えて（下記の通り）報告いたします。

### 記

#### 内容

平成18年度事業状況報告

平成18年度決算書

貸借対照表

正味財産増減計算書

財産目録

収支計算書

計算書類に対する注記

独立監査人の監査報告書

監査報告書

理事会議事録

評議員会議事録

役員名簿

寄付行為

## 1. 事業状況報告

1.1 事業の期間：平成18年4月1日から平成19年3月31日までとする。

### 1.2 役員人事

平成18年3月25日開催の評議員会及び理事会で任期切れに伴う理事、及び評議員の改選を行った。

評議員会で理事8名の重任が出席者全員の賛成を得て承認された。

理事会においても評議員11名の重任が出席者全員の賛成を得て承認された。

平成18年6月24日理事会で評議員末永正信氏の退任と評議員中西 正氏の新任が承認された

### 1.3 実施事業の概要

#### 1.3.1 研究助成金交付

研究分野としては情報科学、化学材料工学、機械工学、生物工学、社会環境工学等の各種工学分野を対象とし総額420万円計上。

公開募集：平成18年8月1日～9月1日(ホームページ)

応募件数：10件

選考結果：平成18年10月27日開催の選考委員会にて下記の6件が研究助成金交付に  
適正と認証

決 定：平成18年11月10日開催理事会、評議員会で承認し決定

決定通知：平成18年11月27日 ホームページ発表, 通知書郵送

研究助成金交付：70万円×6件(12月1日～12月25日完了)

交付者	所属・職位	研究課題
益山新樹	大阪工業大学工学部応用化学科 教授	グリセロールを基点とする機能物質創製に関する研究
伊高健治	東京大学大学院 新領域創成科学研究科物質系専攻リサーチフェロー	$\pi$ 共役有機半導体ヘテロ界面への電界効果キャリア注入と機能デバイス化
仁志和彦	横浜国立大学院 工学研究院 機能の創生部門 過程の機能と安全 分野講師	超臨界二酸化炭素を溶媒に用いた重合反応による機能性ポリマー粒子の生成
桜井 誠	東京農工大学大学院 生 存科学研究拠点助教授	多孔質基盤を管壁型マイクロリアクターの開発
村上 尚	新潟産業大学 産業システム学部 教授	マクロフェージ中のリポキシゲナーゼによるLDL酸化機構の解明
笠井香代子	宮城教育大学 教育学部 理科教育 講座助教授	配位高分子による不斉ナノ反応場の構築と機能性

1.3.2 公開講座：不定期開催の公開シンポジウムと定期開催の公開セミナーがある。

公開シンポジウム：最先端技術の振興を目的に財団法人新世代研究会との共催

平成18年6月5日「超GWシリコン太陽電池生産への技術革新と戦略」

公開セミナー：異業種交流と最先端技術の学習を目的

独立行政法人物質・材料研究機構のイブニングセミナーに協賛

1. H18年4月7日(金)「安全と材料」
2. H18年4月21日(金)「材料研究を支える分析技術開発のお話」
3. H18年5月19日(金)「ナノを観察する。ナノを作る」
4. H18年6月2日(金)
5. H18年6月16日(金)「ナノチューブ、ナノシートを用いた新機能の実現」
6. H18年7月7日(金)「新世紀超耐熱材料プロジェクト」
7. H18年8月4日(金)「材料信頼性研究のターゲットと最新の研究動向」
8. H18年8月25日(金)「ナノ物質・材料研究のための先端計測技術」
9. H18年9月22日(金)「NIMSの挑戦：超分子、分子集合体の設計から  
実用材料へのステージアップ」
10. H18年10月13日(金)「半導体材料センターのミッション」
11. H18年10月27日(金)「優れた特性を発現する燃料電池用材料の  
開発トピックス」
12. H18年11月17日(金)「SQUID（超伝導量子干渉計）とその応用」
13. H18年12月1日(金)「ナノ物質ラボにおける研究 ―ナノ、計測、物質―」
14. H18年12月22日(金)「産業・技術の基盤となる材料データ提供」
15. H19年1月12日(金)「再生医工学の展望」
16. H19年1月26日(金)「量子情報処理基盤材料の新たな可能性を開拓する  
ナノ構造制御・創製技術」
17. H19年2月2日(金)「光触媒の高性能化と基礎理論・基礎研究」
18. H19年2月16日(金)「いま、セラミックスが面白い：  
イノベーティブセラミックスの創製に向けて」

19. H19年2月23日(金)「材料中の特異構造と不思議な光機能特性～  
基盤研究から実用化まで」

20. H19年3月23日(金)「NIMSセンサ材料研究のトピックス紹介」

計20回開催、毎回30余名で会場満杯状態。

## 2. 決算報告書

平成18年度収支決算書を5～9ページに報告。

平成18年度

決 算 報 告 書

財団法人 総合工学振興会

# 貸借対照表

平成19年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,280,930	6,796,385	Δ 1,515,455
流動資産合計	5,280,930	6,796,385	Δ 1,515,455
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
有価証券	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産 (研究助成財産)			
普通預金	40,000,000	40,000,000	0
有価証券	112,545,036	112,545,036	0
特定資産合計	152,545,036	152,545,036	0
(3) その他固定資産			
什器備品	114,211	158,626	Δ 44,415
敷金	190,000	190,000	0
電話加入権	74,984	74,984	0
その他固定資産合計	379,195	423,610	Δ 44,415
固定資産合計	252,924,231	252,968,646	Δ 44,415
資産合計	258,205,161	259,765,031	Δ 1,559,870
II. 負債の部			
流動負債			
預り金	24,300	84,560	Δ 60,260
前受会費	150,000	150,000	0
負債合計	174,300	234,560	Δ 60,260
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
投資有価証券	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	158,030,861	159,530,471	Δ 1,499,610
(うち特定資産への充当額)	(152,545,036)	(152,545,036)	(0)
正味財産合計	258,030,861	259,530,471	Δ 1,499,610
負債及び正味財産合計	258,205,161	259,765,031	Δ 1,559,870

# 正味財産増減計算書

平成18年4月1日～平成19年3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1) 基本財産運用益			
基本財産運用益	3,066,964		
特定資産運用益	4,635,885		
賛助会費収入	2,400,000		
受取利息	9,401		
雑収入	57,000		
経常収益計	10,169,250		
(2) 経常費用			
1) 事業費			
一般研究助成費用	4,200,000		
研究助成推進費用	819,630		
総合工学公開講座経費	693,450		
事業費推進経費	435,285		
事業費計	6,148,365		
2) 管理費			
給料	3,256,000		
旅費交通費	214,780		
会議費	230,122		
公租公課	140,000		
通信費	219,636		
印刷消耗品費	89,632		
地代家賃	1,140,000		
水道光熱費	80,691		
減価償却費	44,415		
雑費	105,219		
管理費計	5,520,495		
経常費用計	11,668,860		
当期経常増減額	-1,499,610		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常収益			
経常外収益計	0		
(2) 経常費用			
経常外費用計	0		
当期経常外増減額	0		
当期一般正味財産増減額	-1,499,610		
一般正味財産期首残高	159,530,471		
一般正味財産期末残高	158,030,861		
II. 指定正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産運用益	0		
② 受取寄付金	0		
経常収益計	0		
(2) 経常費用			
① 事業費			
事業費計	0		
② 管理費			
管理費計	0		
経常費用計	0		
当期経常増減額	0		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常収益			
経常外収益計	0		
(2) 経常費用			
経常外費用計	0		
当期経常外増減額			
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	0		
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	100,000,000		
指定正味財産期末残高	100,000,000		
III. 正味財産期末残高	258,030,861		

# 財産目録

平成19年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金 現金手持有高	93,922		
普通預金 みずほ銀行	5,187,008		
流動資産合計		5,280,930	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
社債 ヨーロッパFNV 1	50,000,000		
ヨーロッパFNV 2	50,000,000		
基本財産合計		100,000,000	
(2) 特定資産 (研究助成財産)			
普通預金 みずほ銀行	40,000,000		
有価証券 ノムラヨーロッパ F768	100,000,000		
アルゼンチン債	12,545,036		
特定資産合計		152,545,036	
(2) その他固定資産			
什器備品	114,211		
敷金	190,000		
電話加入権	74,984		
その他固定資産合計		379,195	
固定資産合計		252,924,231	
資産合計			258,205,161
II. 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	24,300		
前受会費	150,000		
流動負債合計		174,300	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			174,300
正味財産			258,030,861



# 収 支 計 算 書

平成18年4月1日～平成19年3月31日

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入	6,550,000	7,712,250	Δ 1,162,250	
基本財産運用収入	2,250,000	3,066,964	Δ 816,964	
特定資産運用収入	4,300,000	4,635,885	Δ 335,885	
受取利息収入	0	9,401	Δ 9,401	
②賛助会費収入	2,400,000	2,400,000	0	
③研究助成取崩し	5,000,000	0	5,000,000	
④雑収入	0	7,000	Δ 7,000	
事業活動収入計	13,950,000	10,119,250	3,830,750	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	8,100,000	6,148,365	1,951,635	
一般研究助成支出	4,200,000	4,200,000	0	
科学技術普及助成	500,000	0	500,000	
研究助成推進支出	1,400,000	819,630	580,370	
総合工学公開講座支出	1,000,000	693,450	306,550	
事業費推進支出	1,000,000	435,285	564,715	
②管理費支出	6,800,000	5,476,080	1,323,920	
給料支出	4,000,000	3,256,000	744,000	
旅費交通費支出	400,000	214,780	185,220	
謝礼金	100,000	0	100,000	
会議費支出	150,000	230,122	Δ 80,122	
公租公課支出	70,000	140,000	Δ 70,000	
通信費支出	250,000	219,636	30,364	
印刷消耗品費支出	150,000	89,632	60,368	
地代家賃支出	1,200,000	1,140,000	60,000	
水道光熱費支出	80,000	80,691	Δ 691	
リース代	300,000	0	300,000	
雑支出	100,000	105,219	Δ 5,219	
③その他支出	50,000	0	50,000	
事業活動支出計	14,950,000	11,624,445	3,325,555	
事業活動収支差額	-1,000,000	-1,505,195	505,195	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	
2. 投資活動支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
予備費支出計	0	0	0	
当期収支差額	-1,000,000	-1,505,195	505,195	
前期繰越収支差額	6,561,825	6,561,825	0	
次期繰越収支差額	5,561,825	5,056,630	505,195	

## 計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。

2. 基本財産および特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
小計	100,000,000	0	0	100,000,000
特定資産				
普通預金	40,000,000	40,000,000	40,000,000	40,000,000
有価証券	112,545,036	40,000,000	40,000,000	112,545,036
小計	152,545,036	80,000,000	80,000,000	152,545,036
合計	252,545,036	80,000,000	80,000,000	252,545,036

3. 基本財産および特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
有価証券	100,000,000	100,000,000	—	—
小計	100,000,000	100,000,000	—	—
特定資産				
普通預金	40,000,000	—	40,000,000	—
有価証券	112,545,036	—	112,545,036	—
小計	152,545,036	0	152,545,036	—
合計	252,545,036	100,000,000	152,545,036	—

# 独立監査人の監査報告書

平成19年5月25日

財団法人 総合工学振興会  
理事長 野水 重勝 殿

東京都千代田区神田小川町3-7-13  
ヴァンサンクビル4F  
大山公認会計士事務所

公認会計士

大山 毅 

私は、財団法人総合工学振興会の平成18年4月1日から平成19年3月31日までの平成18事業年度の貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録、並びに収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は試査を基礎として行なわれ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私の意見は次の通りである。

- (1) 財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、財団法人総合工学振興会の平成18事業年度末の財政状態並びに同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、財団法人総合工学振興会の平成18事業年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める

財団法人総合工学振興会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

平成 19 年 5 月 25 日

財団法人 総合工学振興会

理事長 野 水 重 勝 殿

監 事 垣 見 恒 男



監 事 原 雄 次 郎



## 監 査 報 告 書

私達は、民法第 59 条及び本財団法人寄付行為第 17 条に基づいて本財団の平成 18 年 4 月 1 日に始まり平成 19 年 3 月 31 日に終了した会計年度の貸借対照表、財産目録及び収支計算書を監査し、本財団法人の財産及び業務執行の状況を監査致しました。

上記監査に当たっては、私達が必要と認めた監査手続きを実施致しました。監査の結果、私達は、上記貸借対照表、財産目録及び収支計算書が公益法人会計基準に準拠して作成されており、本財団法人の上記会計年度末の財政状態及び同会計年度中の収支状況を適正に表示しているものと認めます。

また、本財団の業務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは寄付行為に違反する重要な事実はありません。

上記の通り監査の意見を報告致します。

以上

財団法人 総合工学振興会  
平成19年度第1回理事会議事録

1. 日 時 : 平成19年6月2日(土) 14時15分~15時50分
2. 場 所 : 学士会分館・本郷
3. 出席者 : 監事: 原 雄次郎、垣見恒男  
理事: 野水重勝、吉田邦夫、柴垣和夫、西郷和彦、鯉沼秀臣
4. 欠席者 : 佐分利正彦、小川昭二郎、藤井信行、高田雅介
5. 委任状提出者: 佐分利正彦、小川昭二郎、藤井信行、高田雅介
6. 定足数 : 会議に先立ち福田義夫事務局長から本会議定足数が報告された。  
理事9名中5名出席、4名委任状提出。  
定足数6名に対して有効数9名で理事会は成立
7. 議長 : 規定により議長は野水重勝理事長が行った。
8. 理事長挨拶 : 新体制も軌道に乗り研究助成金交付、公開講座共に予定通り実施出来た。加えて平成19年度は鯉沼理事をはじめ中島、堤、松野、鎗目評議員に新たに加わって戴き組織も一層拡充されました。今年度も共々力を合わせて科学技術振興のお手伝いをして行きたいと存じます。ご協力お願い致します。
9. 議事録署名人の選出: 議事録署名人として吉田邦夫理事長代行、西郷和彦理事が選任された。
10. 審議事項: 審議事項は下記の通り
  - ① 平成18年度事業状況報告: 福田義夫事務局長から以下の報告がなされた。
    - 事業の期間: 平成18年4月1日から平成19年3月31日
    - 人事: 平成18年6月24日理事会で評議員末永正信氏の退任と評議員中西 正氏の新任が承認された
    - 研究助成金交付: 70万円×6件  
公開募集: 平成18年8月1日~9月1日(ホームページ) 応募件数: 10件  
選考結果: 平成18年10月27日開催の選考委員会にて6件が研究助成金交付に  
適正と認証、11月10日開催理事会、評議員会で承認し決定  
70万円×6件(12月1日~12月25日交付完了)
    - 公開講座  
公開シンポジウム: 最先端技術の振興を目的に  
平成18年6月5日「超GWシリコン太陽電池生産への技術革新と戦略」  
財団法人新世代研究会との共催  
公開セミナー: 異業種交流と最先端技術の学習を目的に  
計20回開催、毎回30余名で会場満杯状態  
独立行政法人 物質・材料研究機構のイブニングセミナーに協賛

● 近況報告

海外シンポジウム開催：平成19年4月10日、中国麗江市

“Recent Development of Analytical Instrument and Its Application”

「分析機器の最近の進歩とその利用」

賛助会員新規加入(1社：2口：5月18日)

予定：海外シンポジウム共催平成19年9月25日リヨン大学(仏)にて

② 平成18年度決算報告

- 財産目録、貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、会計士からの計算書類に対する注記、独立監査人の監査報告書、監事の監査報告書の順で福田義夫事務局長が説明。
- 運用財産から5百万取崩しを予算化してあったが取り崩さないで済んだ。
- 経費節減に努めた結果、事業活動支出計に対し管理費支出割合が対前年2.7%減となった。

③ 平成18年度決算書承認

質疑応答後、野水重勝議長が採決を求め出席者全員の賛成で平成18年度決算報告書は承認された。

④ 旅費規定の改定

- 福田義夫事務局長から旅費規定の改定案の説明があった。
- 各条文を審議検討し旅費規定を改定した。

⑤ その他


- 特になし

以上の議事の経過・結果を議事録にし議長及び議事録署名人がこれに記名、押印する。


平成19年6月2日

財団法人 総合工学振興会 平成19年度第1回理事会


議 長

野水重勝 

議事録署名人

吉田邦夫 

議事録署名人

西郷和彦 

以上

原本と相違ありません

平成19年6月18日

財団法人 総合工学会

理事長 野水重勝



平成19年度第1回評議員会議事録

1. 日 時 : 平成19年6月2日(土) 13時00分～13時50分
2. 場 所 : 学士会分館・本郷
3. 出席者 : 理事長:野水重勝、 監事:原 雄次郎、垣見恒男  
評議員:加納啓良、土肥健純、川田雄一、東海林義和、山本信之、  
高橋 勉、中西 正、鎗目 雅
4. 欠席者 : 渡邊公綱、高橋 保、藤本正之、中島 幹、堤 敦司、松野泰也
5. 委任状提出者: 高橋 保、藤本正之、中島 幹、松野泰也
6. 定 足 数 : 会議に先立ち福田義夫事務局長から本会議定足数が報告された。  
評議員14名中8名出席、4名委任状提出。  
定足数10名に対し有効数12名で評議員会は成立
7. 議 長 : 議長に川田雄一評議員が選任された。
8. 議事録署名人の選出: 議事録署名人として中西 正評議員、加納啓良評議員が選任された。
9. 審議事項: 審議事項は下記の通り
  - ① 平成18年度事業状況報告:福田義夫事務局長から以下の報告がなされた。
    - 事業の期間:平成18年4月1日から平成19年3月31日
    - 人事:平成18年6月24日理事会で評議員末永正信氏の退任と評議員中西 正氏の新任が承認された
    - 研究助成金交付:70万円×6件  
公開募集:平成18年8月1日～9月1日(ホームページ) 応募件数:10件  
選考結果:平成18年10月27日開催の選考委員会にて6件が研究助成金交付に  
適正と認証、11月10日開催理事会、評議員会で承認し決定  
70万円×6件(12月1日～12月25日交付完了)
    - 公開講座  
公開シンポジウム:最先端技術の振興を目的に  
平成18年6月5日「超GWシリコン太陽電池生産への技術革新と戦略」  
財団法人新世代研究会との共催  
公開セミナー:異業種交流と最先端技術の学習を目的に  
計20回開催、毎回30余名で会場満杯状態  
独立行政法人 物質・材料研究機構のイブニングセミナーに協賛
    - 近況報告  
海外シンポジウム開催:平成19年4月10日、中国麗江市  
“Recent Development of Analytical Instrument and Its Application”  
「分析機器の最近の進歩とその利用」  
賛助会員新規加入(1社:2口:5月18日)  
予定:海外シンポジウム共催 平成19年9月25日リヨン大学(仏)にて



② 平成18年度決算報告

- 財産目録、貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、会計士からの計算書類に対する注記、独立監査人の監査報告書、監事の監査報告書の順で福田義夫事務局長が説明。
- 運用財産から5百万取崩しを予算化してあったが取り崩さないで済んだ。
- 経費節減に努めた結果、事業活動支出計に対し管理費支出割合が対前年 2.7%減となった。

③ 平成18年度決算書承認

質疑応答後、川田雄一議長が採決を求め出席者全員の賛成で平成18年度決算報告書は承認された。

④ その他


- 理事会で検討される旅費規定の改定案の説明が福田義夫事務局長からあった。


以上の議事の経過・結果を議事録にし議長及び議事録署名人がこれに記名、押印する。

平成19年6月2日

財団法人 総合工学振興会 平成19年度第1回評議員会

議長 川田雄一 

議事録署名人 中西正 

議事録署名人 加納啓良 

以上

原本と相違あり批人

平成19年6月18日

財団法人 総合工学振興会

理事長 野水重勝



# 財団法人 総合工学振興会役員名簿

平成19年6月2日現在

理事長	野水重勝	ツインバード工業株式会社 代表取締役社長
理事長代行	吉田邦夫	吉田事務所 東京大学名誉教授
理事	柴垣和夫	新潟産業大学 特任教授 東京大学名誉教授
	佐分利正彦	正智深谷高等学校 校長
	小川昭二郎	お茶の水女子大学 ライフワールド・ウォッチセンター 客員教授
	西郷和彦	東京大学 工学系研究科化学生命専攻 教授
	藤井信行	新潟産業大学 産業システム学部学部長 教授
	高田雅介	長岡技術科学大学 副学長
	鯉沼秀臣	独立行政法人科学技術振興機構 開発戦略センター シニアフェロー 東京工業大学名誉教授
監事	垣見恒男	垣見技術士事務所主宰 技術士
	原 雄次郎	
評議員	渡邊公綱	独立行政法人 産業技術総合研究所 生物情報解析研究センター センター長
	加納啓良	東京大学 東洋文化研究所 南アジア研究部門 教授
	土肥健純	東京大学 大学院情報理工学研究科 知能機械情報専攻 教授
	高橋 保	北海道大学触媒化学研究センター 教授
	川田雄一	ツインバード工業株式会社 顧問
	東海林義和	株式会社A D E K A 執行役員 研究開発本部 先端材料開発研究所長
	山本信之	ライオン株式会社 研究開発本部 機能素材研究所長
	高橋 勉	長岡技術科学大学 機械系 准教授
	藤本正之	東京ガス株式会社 商品開発部 部長
	中西 正	ツインバード工業株式会社 クリーナー開発部長
	中島 幹	綜研化学株式会社 代表取締役社長
	堤 敦司	東京大学 生産技術研究所 機械・生体系部門 教授
	松野泰也	東京大学大学院 工学研究科 准教授
	鎗目 雅	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 准教授

任期：H18年4月1日～H20年3月31日（全役員非常勤）